2009. 12. 3　D06927-1S

TOTO

# ウォシュレット® S シリーズ 施工説明書

◆"ウォシュレット" はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

## 施工情報

● 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。

## 安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

| ⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 | ⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。 |
|---|---|

絵表示の例

| ⃠ してはいけない「禁止」の内容です。 | ! 必ず実行していただく「強制」の内容です。 |
|---|---|

### ⚠ 警　告

| 絵表示 | 内容 |
|---|---|
| 水場使用禁止 | 浴室など湿気の多い場所には設置しない<br>（火災や感電の原因になります。） |
| 禁止 | 指定する電源（交流 100V）以外では使用しない<br>（火災の原因になります。） |
| 禁止 | 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない（火災や感電の原因になります。） |
| 禁止 | 水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない<br>（皮膚の炎症などを起こす原因になります。） |
| 禁止 | 車輌・船舶など、移動体への設置はしない<br>（火災や感電、故障の原因になります。）<br>（ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。） |
| 必ず守る | 電源プラグは根元まで確実に差し込む<br>（プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。） |
| アース接続 | アース（D 種接地工事）を確実に取り付ける<br>（アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。） |

### ⚠ 注　意

| 絵表示 | 内容 |
|---|---|
| 禁止 | 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない<br>（本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。） |
| 禁止 | 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない<br>（水漏れの原因になります。） |
| 禁止 | 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない<br>（水が噴き出します。） |
| 必ず守る | 施工は施工説明書に従って確実に行う<br>（正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。） |
| 必ず守る | 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める<br>（確実に締めないと水漏れの原因になります。） |

## 取り付け前のご注意

1. **製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。**
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態でヒータが入るため故障の原因になります。
3. 電源は交流100V（50/60Hz）、定格消費電力はSB：417W、SC：411Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. **給水圧力範囲は0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）です。この圧力範囲でご使用ください。**
6. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

※ 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合は TOTO メンテナンス（株）TOTO パーツセンター
**TEL ☎0120-8282-55　FAX ☎0120-8272-99** へご連絡ください。

**給水ホースの長さが不足の場合**

給水ホースの長さは約 1 m です。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、③給水ホースの接続の❹項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

**右給水の隅付タンクへ接続する場合**

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので別売品の中継アダプタ TCA58 が必要となります。

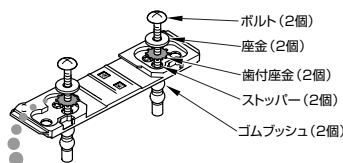
**フラッシュバルブ（FV）へ接続する場合**

**①分岐口のある FV に接続する場合→**別売品の専用アダプタ TH343R が必要になります。
**②分岐口がない FV へ接続する場合→**別売品の専用アダプタ TH484（FV の給排水芯 120mm 用）または TH484-1（低圧 FV 用）が必要になります。
**③分岐口がある FV 止水栓へ交換する場合→**別売品の TH347-1S（節水型）または TH502-1S（普通型）が必要になります。

## 同梱部品

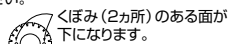
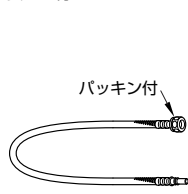
ベースプレート部品

※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。

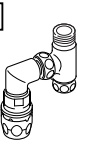
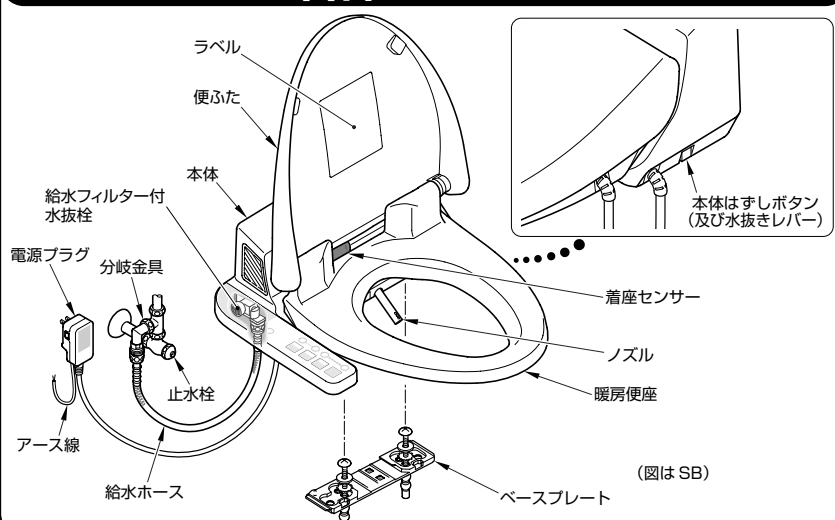
ボルト（2個）
座金（2個）
歯付座金（2個）
ストッパー（2個）
ゴムブッシュ（2個）

分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。
くぼみ（2ヵ所）のある面が下になります。

給水ホース

長さ：約 1m

パッキン付

施工説明書（本書）
取扱説明書（保証書付）
通信販売カタログ

分岐金具

パッキン（2個）

## 各部のなまえ

（図は SB）

# 取付方法

## 1 分岐金具の接続

### 一般のロータンクへ接続する場合

**❶ 止水栓を閉め、給水管を取りはずす**

※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

**❷ 分岐金具を止水栓に取り付ける**

**❹ 給水管を取り付ける**

**❸ 給水管の止水栓側を切断する**

- **給水管の切断はパイプカッターを使用してください。**
  **切断後は切粉などを取り除いてください。**

- 部品の順番、向きを間違えないでください。

### ワンピース便器へ接続する場合

**❶ 止水栓を閉める**

**❷ ふさぎふたとゴムパッキンを取りはずす**



**❸ 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎふたとゴムパッキンを取り付ける**



## 2 便器への取り付け

### 一般の便器への取り付け

注意 すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
**※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。**

**❶ ベースプレートの取付方向を確認する**

前 後と表示している面が表側です。前と表示している方を便器の先端側に向けます。

**❷ 仮締め**

**ゴムブッシュを便座取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める**

- ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

**❸ 本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む**

- 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。

**❹ 本体がまっすぐ取り付くことを確認し、いったん本体を取りはずす**

- 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま手前に引くとはずせます。

**❺ 本締め**

**ベースプレートが便器にあたるまでボルトをしっかりと締めた後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押し込む**

ボルト
ベースプレート
パッキン
便器
便器

パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締め付けてください。

※本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタツキが発生します。（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のスキマによるもので、異常ではありません。）

### 旧公団用便器への取り付け

**❶ ストッパーをはずし、ノックアウトを取りはずす**

**❷ ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える**

## 3 給水ホースの接続

❶ ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす　（2 便器への取り付け ❹項参照）

❷ ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける

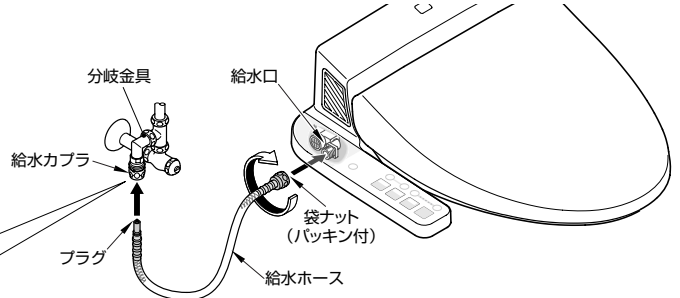
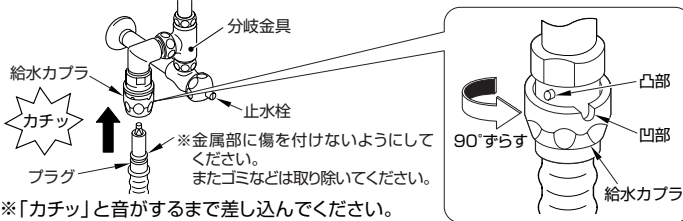
※この状態のまま製品を床に置かないでください。
給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

**⚠ 注意**

給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。
（無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。）

ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。
ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。

❸ 給水ホースを分岐金具の給水カプラに差し込む
(給水カプラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

❹ 給水ホースを取り付けた状態で、本体を取りはずしたり取り付けたりできる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。(同梱品の給水ホースの長さは970㎜です。)
お求めはTOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンター
TEL ☎ 0120-8282-55　FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください。

| 給水ホース長さ違い一覧表 | |
|---|---|
| 給水ホース長さ（㎜） | 品　番 |
| 1180 | D24009ZRRt5 |
| 1480 | D24009ZRRt6 |
| 1980 | D24009ZRRt7 |

※分岐金具の給水カプラは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

**給水ホースのはずしかた**

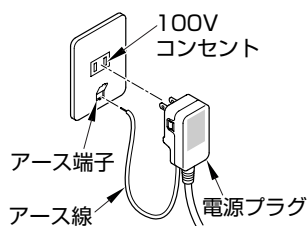
施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。

❶ 止水栓を閉める
❷ ロータンクの水を流す
❸ 給水カプラの凹部と凸部を合わせ押し上げる
❹ 給水カプラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く

❺ ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける　（2 便器への取り付け ❸項参照）

## 4 アース線の接続

- アース線をアース端子に接続してください。

※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。

## 5 電源プラグの確認

❶ 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

❷ 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

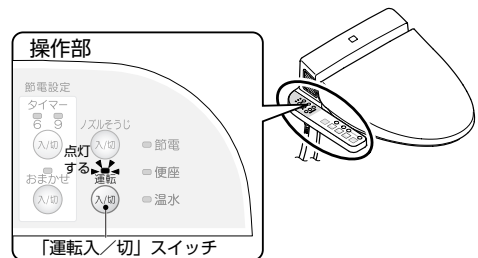
- 「切（テスト）」ボタンを押す　➡　「切表示」ランプが**点灯**する
- 「入（リセット）」ボタンを押す　➡　「切表示」ランプが**消灯**する

以上のように作動すれば正常です。

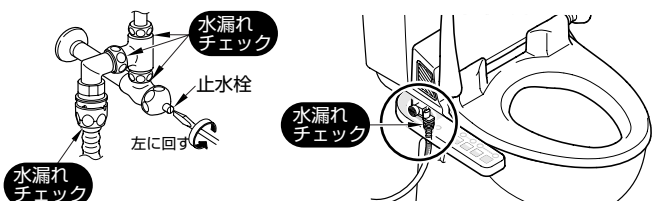
- 「切表示」ランプが点灯している状態では、通電されません。

**テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。**

## 試　運　転

- 試運転の前には必ず「運転入／切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。
（「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。）
「運転入／切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
**お客様に引き渡す時間があっても「運転入／切」スイッチを切らないでください。**

## 1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する

※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

# 試　運　転

## 2 機能の確認（便座を閉めないと着座センサーははたらきません。）

❶ 着座センサーを白紙でおおう
- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。

❷ 脱臭機能を確認する（SBのみ）
- 本体左側面の吹出口より風が出ていますか？

❸ パワー脱臭機能を確認する（SBのみ）
- パワー脱臭（入/切）を押すと脱臭音が大きくなりますか?
- もう一度 パワー脱臭（入/切）を押すと通常の音に戻りますか?

❹ 洗浄機能を確認する
- おしりを押すとノズルから温水が出ますか？
（温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。）
- 水勢調節（弱）（強）を押すと水勢が変化しますか？
- 止を押すと止まりますか？

❺ 乾燥機能を確認する（SCのみ）
- 乾燥を押すと温風が出ますか？
- 止を押すと止まりますか？

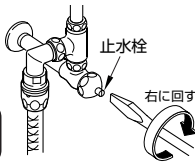
❻ 暖房便座機能を確認する
- 便座があたたまるまで約15分かかります。

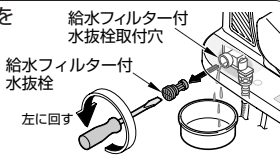
❼ 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはずす

❽ オートパワー脱臭機能を確認する（SBのみ）
- 脱臭音が大きくなりますか？
- 約1分後に自動で止まりますか？

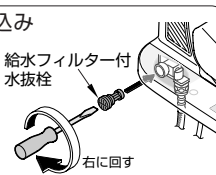
# 給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。
（フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。）

❶ 止水栓を閉めて給水を止める
- ノズルそうじ（入/切）を押し、ノズルを伸出させた後、もう一度 ノズルそうじ（入/切）を押してください。
（給水管内の圧抜きです。）

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない（水が噴き出します。）

❷ 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

❸ フィルターを水洗いして小さなゴミを取る
※本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

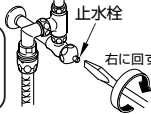
❹ 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める

⚠ 注意
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
（確実に締めないと水漏れの原因になります。）

❺ 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

# 凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡すまでに凍結のおそれがあるときは、電源プラグは差し込んだままにしてください。漏水事故予防のため、次の要領で水抜きしてください。

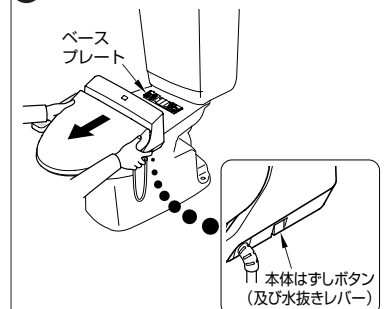
❶ 止水栓を閉めて給水を止める
- ロータンクの水を流してください。
水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

⚠ 注意
止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない（水が噴き出します。）

❷ 配管の水を抜く
①操作部の ノズルそうじ（入/切）を押す
（配管内の残水を抜く準備です。）
②給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

③給水ホースを持ち上げてホース内の水を抜く（約30ml）

④もう一度 ノズルそうじ（入/切）を押す
（ノズルを元に戻します。）

❸ 本体を取りはずす

ベースプレート
本体はずしボタン（及び水抜きレバー）

- 取りはずした本体は、便器上面の前側に置いてください。

❹ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引いて本体内の水を抜く
- 本体をはずさないと水抜きレバーは引けません。
- 本体下側から水（約1.2L）が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

❺ 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を戻し、本体を取り付ける

❻ 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める
（給水フィルターの掃除 ❹項参照）

❼ 本体を取り付ける

**工事店様へ**
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
（但し凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。）